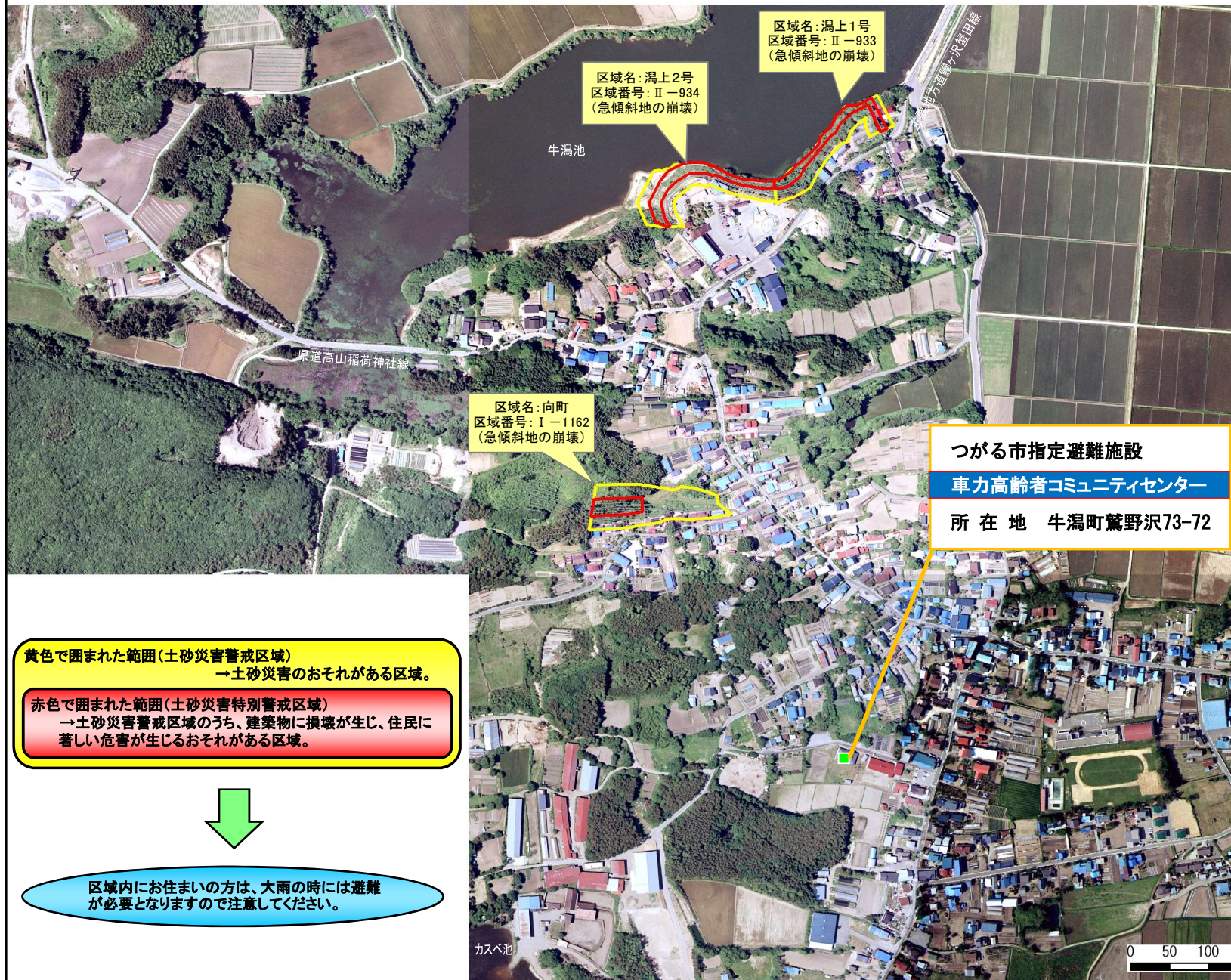


土砂災害ハザードマップ(つがる市牛潟地区)



凡 例

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

<施設>

- 避難施設

黄色で囲まれた範囲(土砂災害警戒区域)
→土砂災害のおそれがある区域。

赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域)
→土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域。



区域内にお住まいの方は、大雨の時には避難が必要となりますので注意してください。

主要地方道屏風山内真部線

自分の家に印をつけておきましょう。

0 50 100 200 300 400 500
メートル

土砂災害に備えて

お問い合わせ先 ■つがる市役所 総務部 防災危機管理課 電話番号0173-42-2111
■青森県 鯉ヶ沢道路河川事業所 電話番号0173-72-3135
■青森県 県土整備部 河川砂防課 電話番号017-722-1111

土砂災害や水害は大雨などに伴って発生しますが、いつどこで起きるかを正確に予測することは困難です。私たちは、災害が発生しそうなときや災害が発生してしまったときに被害を最小限に食い止められるよう、日常から災害を意識し、これに対する訓練を心がけておく必要があります。

土砂災害ハザードマップは、集中豪雨などによって「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」などが発生した場合に、危害がおよぶおそれがある範囲や、各地区の避難場所などを示した地図です。

集中豪雨などにより土砂災害などが発生するおそれがあるときには、テレビ・ラジオ等の最新情報に注意し、状況に応じて速やかに安全な場所へ避難してください。いざというときに備え、あなたの家の近くの安全な避難場所やそこまでの道順を確認しておきましょう。

なお、この地図に示した区域以外のところでも土砂災害は発生することがありますので、現地の状況には十分注意し、危険を感じたら近づかないようにしてください。

令和5年 9月 つがる市

■土砂災害の種類と前兆

土砂災害の3つのタイプ		こんな前兆には要注意！	
がけ崩れ		大雨によって土の抵抗力が弱まり、斜面が突然崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、一瞬にして崩れ落ちるため、逃げ遅れる人も多く、大きな被害をもたらします。	がけ崩れの前兆 ●がけからの水がにごる ●がけに亀裂が入る ●小石が落ちてくる ●がけから異様な音がある
土石流		谷や斜面に堆積した土砂が大雨によって水といっしょに一気に流れ出す現象です。流れが速く、破壊力も大きいため、莫大な被害をもたらします。	地すべりの前兆 ●地面にひび割れができる ●井戸や沢の水がにごる ●斜面から水がふき出す
地滑り		比較的ゆるやかな斜面で起こりやすく、地下水などの影響によって斜面全体がゆっくりと動き出す現象をいいます。場合によっては一気に滑り出すこともあります。	土石流の前兆 ●雨が降り続いているのに川の水位が下がる ●山鳴りがする ●立ち木のさける音、石のぶつかりあう音が聞こえる ●川の水が急ににごったり、流木が混ざる

NTT災害用伝言ダイヤル 171 ※災害用伝言ダイヤルは、一般電話の他に公衆電話、携帯電話からも利用できます。

災害時には電話が混雑し、家族と連絡がとれない事が多くあります。そんな時には「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。

録音方法

171▶1▶0173▶自宅の電話番号

案内が流れます 市外局番が必要です

再生方法

171▶2▶0173▶自宅の電話番号

案内が流れます 市外局番が必要です

災害発生に備えて利用方法を事前に体験しておくとい良いでしょう。

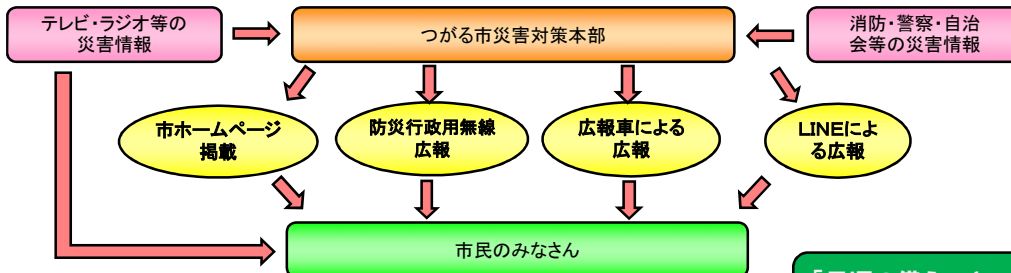
【体験利用提供日】

- ①毎月1日、15日 00:00～24:00 ②正月三が日（1月1日00:00～1月3日24:00）
③防災週間（8月30日9:00～9月5日17:00） ④防災とボランティア週間（1月15日9:00～1月21日17:00）

■気象情報や避難情報の伝わり方

気象情報等の入手先

- 青森地方気象台 <https://www.jma-net.go.jp/aomori/>
- 国土交通省 川の防災情報 <https://www.river.go.jp>
- 青森県土砂災害警戒情報システム <http://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp/TopPage.html>
- つがる市ホームページ <http://www.city.tsugaru.aomori.jp>



いざというときに備えて、地区の連絡網などをもう一度確認しておきましょう。

非常用持ち出し品

チェック	持ち出し品	備考
☐	懐中電灯	できれば1人1個。予備電池も忘れずに。
☐	ラジオ	AM,FM両方聞けるもの。予備電池も忘れずに。
☐	飲料水	1人1日3リットルが目安。3日分を確保しましょう。
☐	非常食	缶詰など火を通さない食べ物。3日分を確保しましょう。
☐	応急手当用品	消毒液、包帯など。常備薬を忘れずに。
☐	衣類一式	着替え、下着類。
☐	生活用品	万能ナイフ、ウェットティッシュなど。
☐	通帳・印鑑など	保険証も準備しましょう。
ポイント 1.避難の際に障害にならない程度に！ 男性15kg、女性10kgを目安に、両手が見えるリュックサックに入れる。 2.非常持ち出し袋は家の数箇所に置く！家のどこが被害に遭うかわからないため。		

周辺避難所	住所
車力高齢者コミュニティセンター	牛潟町鷺野沢73-72

「日頃の備え」と「早めの避難」

土砂災害から身を守るには私たち一人ひとりが「日頃の備え」と「早めの避難」を心がけることが大切です。



わが家の防災メモ

わが家の安全な避難場所			
指定避難施設			
家族が離ればなれになったときの集合場所			
家族の連絡先	名前	電話番号	メモ

いざというときの連絡先

つがる市役所	42-2111
つがる市消防署	42-2101
つがる市北消防署	56-3119
つがる警察署	42-3150